



# 奈良県内経済情勢報告

(平成30年1月判断)

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回 (29年10月判断)	今回 (30年1月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	

(注) 30年1月判断は、前回29年10月判断以降、30年1月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

### (判断の要点)

個人消費は持ち直しているほか、生産活動は持ち直しつつあり、雇用情勢は着実に改善している。

### 【各項目の判断】

項目	前回 (29年10月判断)	今回 (30年1月判断)	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	改善している	着実に改善している	
設備投資	29年度通期は前年度を下回る計画	29年度通期は前年度を下回る計画	
企業収益	29年度通期は減益見通し	29年度通期は減益見込み	

### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策効果もあり、県内経済が回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

## 2. 各論

### 【主な項目】

#### ■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店・スーパー販売額は、化粧品が訪日外国人客向けに好調なことに加え、気温の低下により衣料品が復調傾向にあるものの、青果物や水産品の価格高騰により飲食料品が低調なことから、前年を下回っている。

コンビニエンスストア販売額は、惣菜やカウンター商品、チケット関係などが好調なことから、前年を上回っている。

ドラッグストア販売額は、化粧品や医薬品などが好調なことから、前年を上回っている。

乗用車新車登録届出台数は、小型車が前年を下回っているものの、普通車及び軽自動車が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

観光動向は、奈良市内のホテル客室稼働率をみると、天候不順や近隣にホテル等が進出したことによる競争激化などから、前年を下回っている。

- 衣料品は気温の低下が例年より進んだことから好調なほか、化粧品が訪日外国人客向けに好調となっている。  
(百貨店)
- 惣菜等の中食関連は引き続き好調であるものの、青果物や水産品の価格高騰の影響から飲食料品の売上が低調であった。  
(スーパー)
- 10月は台風の影響で客足が落ち込んだものの、11月以降は客足が戻ってきている。気温の低下が例年より進んだことから肉まんなどのカウンター商品が特に好調なほか、惣菜やパンなどもよく売れており、チケット関係も好調となっている。  
(コンビニエンスストア)
- インバウンド需要が回復してきており、化粧品や医薬品などの販売が好調となっている。  
(ドラッグストア)
- 小型車で新型車投入効果のあった昨年と比べると反動減はあるものの、人気車種の販売は引き続き好調である。  
(自動車販売店)
- 10月が台風の影響で客足が落ち込んだことに加え、近隣にホテル等が進出したことによる競争激化などから稼働率は前年を下回っているものの、客室単価を高めたこともあり、収益は昨年比で好調に推移している。  
(ホテル)

#### ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業生産指数でみると、印刷業などが低下しているものの、好調な設備投資需要や自動車需要から一般機械が上昇するなど、全体では持ち直しつつある。

- 国内外ともに企業の設備投資意欲が旺盛で、工作機械部品の受注が好調に推移している。  
(はん用機械)
- 世界的に好調な自動車需要により、自動車関連部品の受注が好調に推移している。  
(生産用機械)
- 気温の低下が例年より進んだことから、靴下の生産が伸びている。  
(繊維)

#### ■ 雇用情勢 「着実に改善している」

有効求人倍率は1.3倍を超えて緩やかに上昇している。新規求人数も増加傾向にあるなど、雇用情勢は着実に改善している。

- 雇用状況が改善するなか、新規求職者の減少傾向が続いているものの、県内企業の採用意欲は引き続き高く、多くの産業において人手不足感の強い状況が続いている。  
(官公庁)
- 受注が好調で生産が増加していることから生産現場の人手が不足している。募集しているものの、工場で夜勤もあるので応募はそれほど多くなく、不足分は派遣社員でまかなっている。近年行っていなかった正社員の採用も開始した。  
(印刷業)
- 売場やレジ担当などで募集をかけているが人手が集まらず、昨年よりも人手不足感が増している。今後は時給を上げて募集する予定。  
(スーパー)

- **設備投資** 「29年度通期は前年度を下回る計画」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年10~12月期
  - 製造業では、食料品などで前年度を下回っているものの、化学などで前年度を上回っていることから、全体では前年度を上回る計画となっている。
  - 非製造業では、宿泊業などで前年度を上回っているものの、物品賃貸などで前年度を下回っていることから、全体では前年度を下回る計画となっている。
- **企業収益** 「29年度通期は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年10~12月期
  - 製造業では、化学などが減益となるものの、生産用機械などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
  - 非製造業では、物品賃貸などが増益となるものの、建設などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

#### 【その他の項目】

- **企業の景況感** 法人企業景気予測調査 (平成29年10~12月期調査) の景況判断BSIで見ると、現状判断は「上昇」超で推移している。
- **住宅建設** 新設住宅着工戸数で見ると、持家・貸家において前年を下回っているものの、分譲においては前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。
- **公共事業** 前払金保証請負金額で見ると、国や府県などで減少していることから、前年を下回っている。
- **企業倒産** 倒産件数、負債総額ともに前年を下回っている。

〔連絡・問い合わせ先〕

近畿財務局 奈良財務事務所 財務課  
TEL 0742-27-3162 (直通)